

「非住宅用（産業用）太陽光発電設備設置に関する意識調査」（抜粋）

再生可能エネルギーの更なる普及を目指す Loop では、「自然エネルギーをあなたのそばに。」の理念のもと活動をしております。今回、太陽光発電事業をさらに身近なものとしていただくために、太陽光発電に対して「なにを期待しているのか」、また「なにが実施の障害となっているのか」を把握する目的で、「非住宅用（産業用）太陽光発電設備」を設置、もしくは検討された方を対象とした意識調査を実施いたしました。

調査概要

実査委託先 楽天リサーチ株式会社

調査対象 下記 1) -3) のいずれかを満たす全国の 20 歳以上男女 300 名

1) 非住宅用 地上設置型 太陽光発電（出力 10kW 以上）を設置者している方

2) 非住宅用 地上設置型 太陽光発電（出力 10kW 以上）を現在検討している方

3) 非住宅用 地上設置型 太陽光発電（出力 10kW 以上）を過去検討した方

調査方法 インターネット調査

調査日 2016 年 10 月 26 日

サマリー

■ 太陽光発電事業について具体的に検討したことがある人たち 300 人が感じた、

太陽光発電を検討する際に魅力的なポイント：

☑20-40 代（資産を増やしたい世代）では「利回りの良い投資」として

☑30-40 代（相続が見えはじめた世代）では「遊休地の有効活用方法」として

☑若者（20 代）と高齢者（70 代）は「地球環境への貢献」として

■ 産業用太陽光発電のオーナー 100 人に聞いた、

いまの太陽光発電事業に満足しているポイント：

☑Top5：①収益面 ②遊休地の有効活用 ③手がかからない

④環境貢献 ⑤次世代への資産

■ 太陽光発電を事業として具体的に検討したことがある人たち 300 人が感じた、

太陽光発電を検討する際に不安なポイント：

☑FIT 終了後の 20 年後の「買取保証終了」と「買取価格下落」への不安

☑「災害/盗難」や「パネル性能低下」など、永続的な事業継続性への不安

■ 産業用太陽光発電設備のオーナー 100 人の「現在」の本音は、

20 年後、太陽光発電ビジネスを続ける？やめる？：

☑「その時の買取価格で検討」「まだ考えていない」人が 5 割以上

☑「様子見」>「中止の意向」>「継続の意向」

■ 太陽光発電事業の具体的検討者 300 人に聞きました、

電力買取保証を 10 年延長されたら？：

☑事業の検討者の 6 割近くが「(ぜひ/やや) 検討したい」と回答

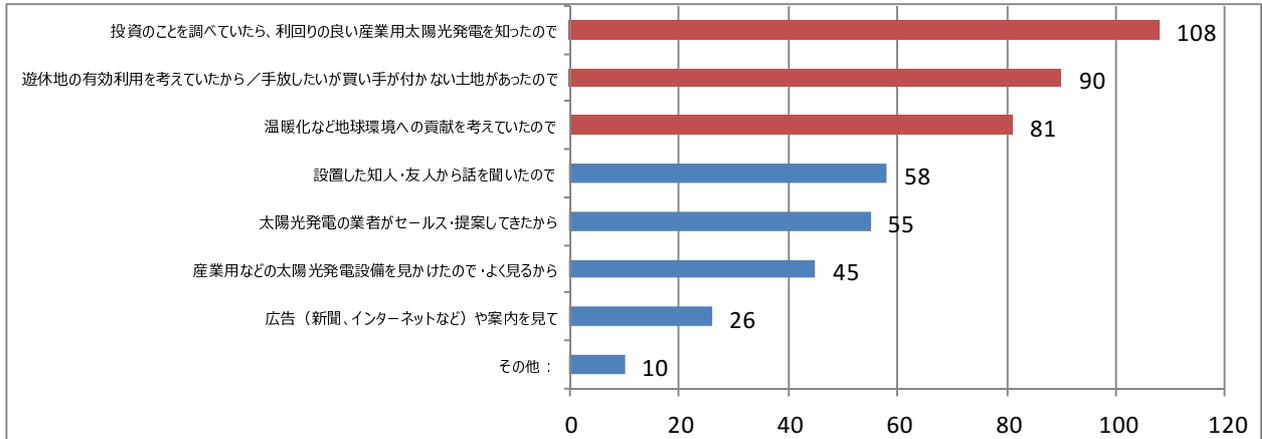
☑「前向き」>「様子見」>「後ろ向き」

【検討者の期待】太陽光発電を検討したきっかけは・・・「投資」と「地球環境」

- ・「産業用太陽光発電」に関心を持ったきっかけは、「収益重視」、ついで「遊休地の有効活用」、さらに「環境貢献」が続く。

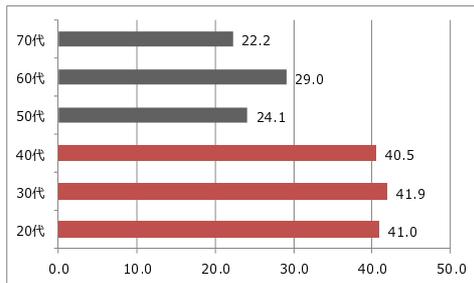
Q.あなたが「産業用太陽光発電」の設置をそもそも検討し始めた大きな動機や理由は何ですか。

(MA N=300)



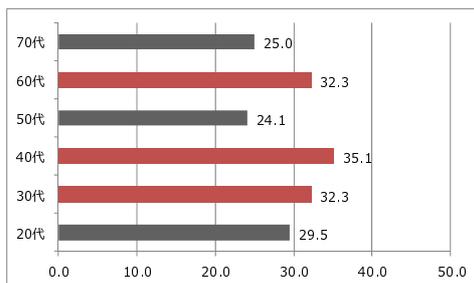
<検討きっかけ Top3 年代別回答割合（%）>

A.「投資のことを調べていたら、利回りの良い産業用太陽光発電を知ったので」



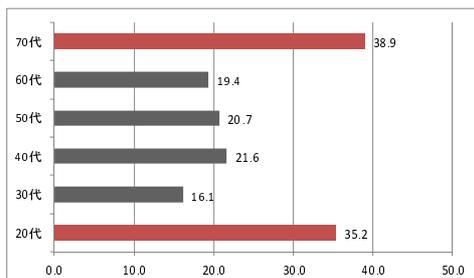
20-40代のいわゆる働き盛り世代では太陽光発電を「投資」対象として検討するケースが多い

A.「遊休地の有効利用を考えていたから／手放したいが買い手が付かない土地があったので」



30-40代は相続等で得た「遊休地の有効利用」の検討と、「投資」を組み合わせる検討したものと考えられる

A.「温暖化など地球環境への貢献を考えていたので」

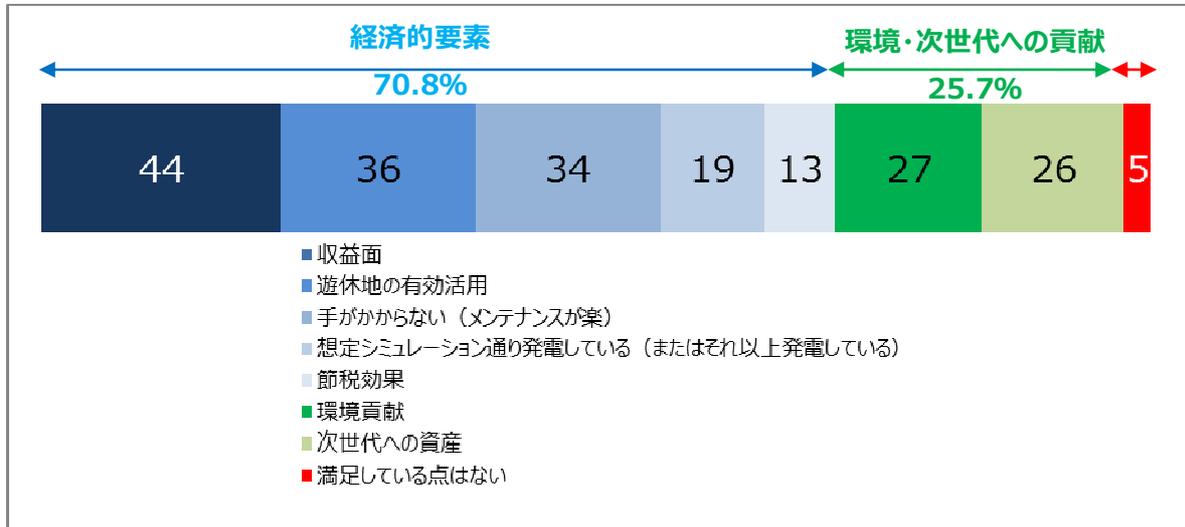


最高齢世代と最若年世代が太陽光発電に対して「環境への貢献」を期待している。
20代の若者層は「ビジネス」と「環境」を両立する太陽光発電への期待があるものと思われる

【所有者のリアル】「現状での満足点」・・・所有者の7割が“経済的要素”に高評価

・太陽光発電設備所有者が現状の満足点として挙げたのは、導入検討時に期待されていた「収益面」、「土地活用」は“期待通り”という結果に続き、「手がかからない」が3番目に挙がり、「発電量」や「節税対策」などの事業メリットとあわせて7割以上が“経済的要素”に満足と回答。

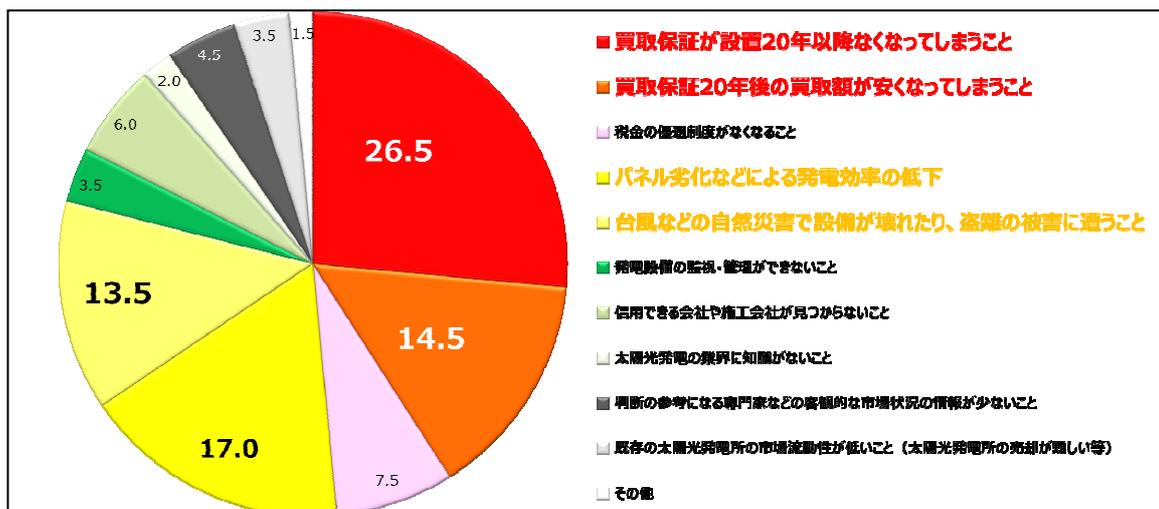
Q.あなたが「産業用太陽光発電」を設置（所有）してみて現状どのような点で満足されているかをお答えください。 (MA N=100)



【検討者の不安】今日は“晴れ”でも、いつまで続く？・・・とくに20年後の雲行きを心配

・現時点での経済的な満足度は高い太陽光発電だが、FITの終了（設置20年後）に伴う「買取保証の終了」や「買取価格の下落」といった将来への経済的不安は4割を超える。
 ・また、「パネル性能の劣化」や「災害や盗難」といったリスクによる事業継続性に対する不安も3割を超えている。

Q.あなたが「産業用太陽光発電」を導入する上での心配や不安は何ですか（何でしたか）。また、その中で特に大きな心配や不安は何ですか（何でしたか）。 (SA N=200)



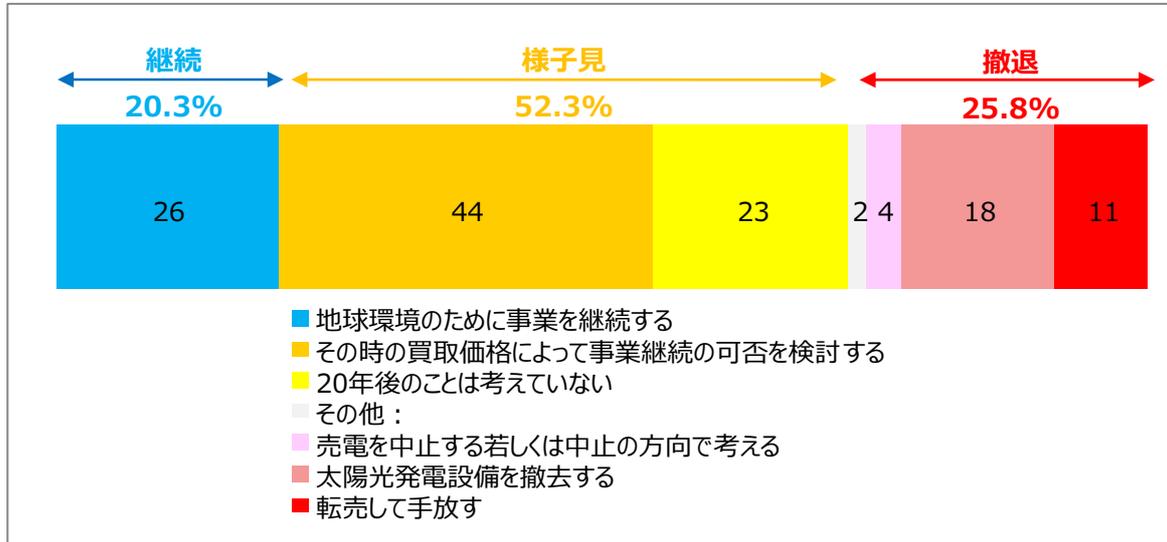
【所有者のリアル】 どうする！？ 20年後問題・・・まさに鼎立状態

・現時点での「満足」と将来における「不安」が入りまじった結果、現段階では「様子見」が52.3%と半数を超えるが、「環境貢献のために継続」と答えた「継続派」が20.3%、「収益担保なしでは事業撤退」が25.8%と、まだ大勢が定まっていない状態といえる。

Q.あなたが導入された「産業用太陽光発電」について、

買取保証制度が終了する20年後についてどのようにお考えですか。

(MA N = 100)

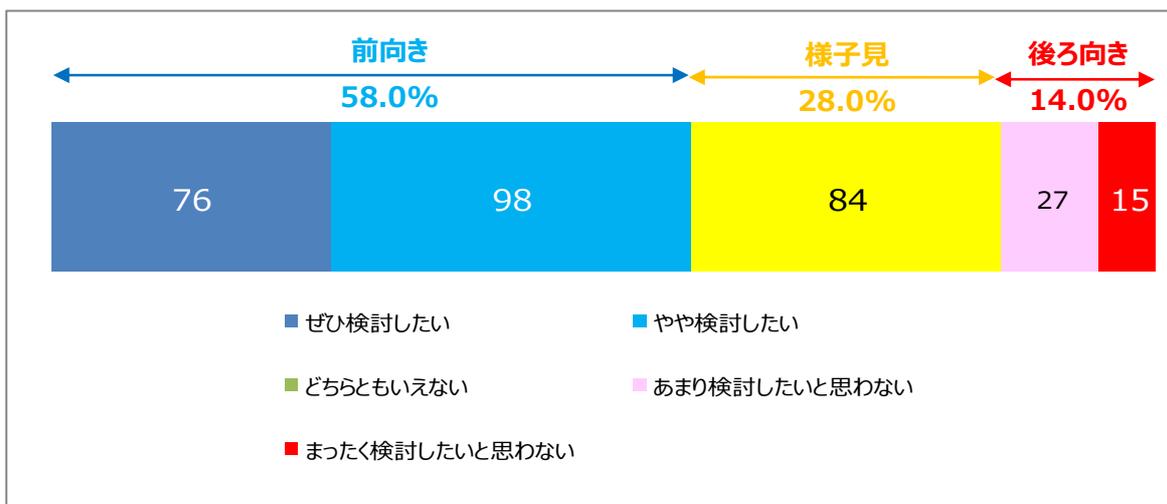


【検討者のリアル】「さらに10年」の保証は太陽光発電事業普及の切り札！？

・太陽光発電を検討した経験をもつ人にとって、電力の買取保証が30年になるという条件提示は58%を「前向きに検討」させることが分かった。

Q.買取保証期間20年がさらに10年間延長保証されるとしたら、「産業用太陽光発電」の設備導入を検討されますか。

(SA N = 300)



以上